

中澤省一郎のSS経営メールマガジン No.145

まとめ ここ数ヶ月間の石油業界の動き

■ エネ庁

- 石油精製・流通研究会 ⇒ 10/20 第1回 ~ 1/26 第5回
- 石油取引ガイドライン（仮称）を策定 ⇒ 早ければ 3月末公表、遅くとも 5月末？
- PRA価格指標の整備

■ 指標会社の動き（石油現物市場を含む）

- RIM： PRA取得 ⇒ 今後も継続
- Platts： PRA価格指標を公表 ⇒ 4/25 海上、12/12 陸上
eWindowによる実名による現物マーケットの創設
- TOCOM： TOCOMWindow ⇒ 1/11 より海上、陸上とも開設
現金決済型石油先物市場 ⇒ 5/8 開設（石油スワップ市場？）
（OPISがTOCOMWindowの成約実績で価格指標の公表を開始。PRAは？）

■ 公取委

- 2つの大規模経営統合審査 [JX+TG] [出光+昭和シェル] ⇒ 12/19 認可

■ 元売：大手5社体制 ⇒ 実質3社体制へ

- JX+TG： ⇒ 12/22 臨時株主総会で合併を承認、4/1 合併予定
- 出光+昭和シェル： ⇒ 12/19 出光が昭和シェル株式31.3%をRDSより取得 ⇒ 昭シェルを実質子会社化
- コスモ： ⇒ パーター継続：業転出し元売りへ・・・富士石油との関係は？
- 太陽石油： ⇒ 12/28 沖縄の南西石油を買収完了・・・業転は大幅縮小へ

■ 製油所の統廃合

- 3月まで ⇒ 高度化法の2次対応：コスモ（四日市と千葉でトッパー廃棄）以外は、公称の能力の削減で対応か？
- 4月以降 ⇒ 自主的に、トッパー廃棄、石化会社への譲渡等が、早い段階で公表されると思います。
（JX根岸・堺、TG堺、火災を起こした和歌山等に要注意です）

■ 商社：再編は必須

- 大手4社の経営統合は必須 ⇒ 早めれば 3月までに公表か（将来的には2社に統合）
- 中小業転商社「廃棄」「業態転換」等 ⇒ 4月以降 加速する
- 業転玉が大幅に縮小する可能性強 ⇒ 4/1 JX+TG合併で、商社4社体制の存続は不可能

■ SS業者：元売一部出資会社に大きな「うねり」

- 第三者の買手はほとんど不在 = 元売へ売却か？自己株で買うか？
- 総合商社系石油商社はIFRSの関係で株式の取得、SSの取得は非常に厳しいです。
- LPGの譲渡は高騰。場所によっては25万円/件も見られます。
- SSは買い手不在？（安ければ売れます）
- 元売所有割合49%以下は、ほとんどが「元売50%超」か「ゼロ」かの選択になると思います。（将来的には）
- 元売への売却：「優良会社」+「後継者不在」が条件・・・「優良会社でない」と辛いです。
- 株式を元売から自己株として買収、SS事業は元売に売却で、石油事業から撤退の会社もあります。
- 不動産賃貸だけ残れば御の字という会社も多いかも知れません。

■ 地場特約店は「石油取引ガイドライン」が命綱

- 何とか、ご自身が経営でき、かつ、後継者も経営できる業界として残って欲しいものです。
- GSは公共インフラです。一定密度で存続していかなければなりません。
- 元売2強時代には「石油取引ガイドライン」とPRA価格指標は必須、「命綱」です。

■ ところで、1/1に続いて、2/1から業転価格の価格修正になる可能性があります。要注意です。

- 輸入採算価格より大幅に安いガソリン、軽油もいずれは灯油のように「輸入採算価格」の近くまで値上がりします。
- 4/1を目指して、色々な劇的な変化が起きる可能性が強いです。「耳をダンボ」にしてください。
- 必要に応じて、セミナーの内容を「追加」しますので、ご心配なく。

業界の動きを徹底解説！ 散らばったパズルが噛み合います！

2月9日セミナー まだ間に合います！

中澤公認会計士事務所 検索